

第 22 回 高山市近代文学館企画展

高山市名誉市民

瀧井孝作没後三十年展

- 第三部 -

せっさい

「俳人 折柴」

平成 27 年 3 月 14 日(土)~15 日(日)

於 高山市図書館「煥章館」

主催 (一社)高山市文化協会

共催 高山市

# せっさい 俳人「折柴」

一般社団法人 高山市文化協会は、郷土出身又は郷土で活躍した文学者の活動と功績を紹介するため、年に二回「高山市近代文学館企画展」として、作品を始め関連する資料を市民の皆様を紹介し、高山市の文学・文化の振興に努めています。

高山市名誉市民である文学者「瀧井孝作」が、日本の文学界を代表する作家に至る背景には、郷里の高山で過した少年期に、十四才で「袖原畦董」に俳句を教わり、十五才で俳人の「福田鋤雲」を知る等、川上魚問屋での奉公の傍ら、俳句に興ずる仲間と過ごした生活環境が、文学を志す芽を大きく育てたと言われています。

明治四十二年、来訪中の俳人「河東碧梧桐」に非凡な才能を認められた少年「瀧井孝作」俳名「折柴」（始めた頃は「おりしば」と言った）は、これを契機に俳名を「折柴」（せっさい）と呼び、文学の道へ精進する意志を強固にして、後に数々の文学作品を発表しました。

後年には日本の文学界を牽引する立場となり、その功績が高く評価され、勲三等瑞宝章・文化功労章の栄誉に浴しています。

今回の近代文学館企画展「『瀧井孝作』没後三十年展」第三部は、文学者として基礎を成した俳句に焦点を当て、俳人「折柴」が遺した俳句の資料他、係わりのあった仲間の筆跡等を展示し、俳人「瀧井孝作」の功績を紹介します。

平成二十七年 三月

一般社団法人 高山市文化協会

## [原稿]

- 1 『ホトトギス』 抜書及び碧梧桐歓迎會  
M42. 9. 1~M43. 10. 1 深山會報告
- 2 「芋の子 出題」深山會の句評の毛筆原稿  
M42 春 瀧井孝作生誕百年記念小冊子掲載 23 ページ
- 3 深山會 句稿毛筆原稿 3 枚  
M45. 6
- 4 瀧井孝作著書年表 一折柴書誌一
- 5 『高山絵紀行』 上條 武編著  
S59 瀧井孝作生誕百年記念誌掲載本、銀河書房刊
- 6 句帖など 12 冊

## [俳句]

- 7 我家に来るもの椋の葉あびたり  
T5. 9 俳句、瀧井孝作
- 8 蜜柑の荷土間の高窓の二つ  
T5. 11 俳句、瀧井孝作
- 9 下谷浅草ポーと笛鳴り冬の夜  
T5. 12 俳句、瀧井孝作
- 10 牡蠣船から煤まるけの夕日が赤い  
T6. 1 俳句、瀧井孝作
- 11 電燈つけた障子の中の畳に寐そべる  
T6. 4 俳句、瀧井孝作
- 12 枯草に帽子をおくかむりとほしたる  
T7. 3 俳句、瀧井孝作
- 13 眞赤なフランネルのきもので四つの女の子  
T8. 5 俳句、瀧井孝作
- 14 母をこぼし彼の部屋々々の思はるゝかな  
年代不詳 俳句、瀧井孝作
- 15 初日上る廣野の月の落ちて行く  
年代不詳 俳句、瀧井孝作
- 16 ぬれた草に落した魚のあげられず  
T9. 1 俳句、瀧井孝作
- 17 自笑隻聲に魂をのゝくや安居僧  
俳句、岩谷山梔子
- 18 あした青柚の樹ゆふベカンナの花黄なり  
T13 俳句、塩谷鶴平
- 19 折柴兄に遇ふ冬は旃檀の實を味はん  
俳句、柚原畦董
- 20 柚落とす竿にて尖れ里  
T5 俳句、河東碧梧桐

## [掲載誌・書籍]

- 21 『日本乃日本人』 抜書き「各地俳況消息」  
M42 510 号(M42. 6. 1)~597 号(T2. 1. 1)関係箇所抜粋
- 22 『日本乃日本人』 抜書き  
M42 515 号(M42. 8. 15)~677 号(T5. 4. 1)関係箇所抜粋
- 23 『日本乃日本人』 コピー  
M44 564 号(M44. 8. 15)のコピー
- 24 『化学工業』 編輯より  
T2. 7. 1 第一巻第二号、化学工業社刊
- 25 『化学工業』 京都にて折柴大正  
T2. 8. 1 第一巻第三号、化学工業社刊
- 26 『層雲』 六甲まで(吟行)  
T1 五月号(第三巻第二号)
- 27 一切集  
T4 『ツチグモ』 第6號
- 28 『文章俱樂部』 新傾向句の話  
T8 第五年第八号 八月号
- 29 『折柴句集』  
S6 やぼんな書房刊、初版
- 30 『碧梧桐句集』 解説文 孝作  
S22 桜井書店
- 31 『碧梧桐句集』(角川文庫 980)  
S29 喜谷六花・瀧井孝作編纂、角川書店
- 32 『文藝』 芥川さんの俳句  
S29 第十一巻第十五号臨時増刊号(芥川龍之介読本)、河出書房
- 33 『明治俳壇埋蔵資料』(序文)孝作執筆  
S47 大学堂書店
- 34 『碧梧桐全句集』 監修 瀧井孝作  
H4 「定型と自由律と」(瀧井著)所収。蝸牛社
- 35 自由律俳句作品年表(大正元年~一五年)  
S48 『俳句研究』
- 36 河東碧梧桐一俳句と書一  
S57 東京堂出版
- 37 『墨美』 瀧井の鉛筆書きの草稿  
S45. 5 第200号5月号(明治・大正・昭和100年作品集)墨美社
- 38 『句集 素顔』 小鳥良々  
S47
- 39 『俳句とエッセイ』 瀧井孝作と「文人俳句」  
S48. 10 No.10、牧羊社
- 40 『俳句とエッセイ』折柴句集補遺(23句)  
S49. 2 No.2、牧羊社、瀧井孝作「漁歴になき・・・赤汐や夏柳」
- 41 『句集 山櫻』  
S50 自選・自筆句集
- 42 『句集 山櫻』 原稿
- 43 『八王子市名誉市民瀧井孝作展記念誌』  
S50 於八王子大丸(S50. 10. 9~14)、八王子市主催

- 44 『瀧井孝作全句集』自筆俳句付  
S52 牧羊社刊の全句集に61句を加えた和装特装版。講談社刊
- 45 俳人・瀧井孝作  
S57 『俳句』への連載をまとめたもの。永田書房刊
- 46 漢碑の気・瀧井孝作の書  
H4 『墨』5・6月号一六八号、芸術新聞社
- 47 瀧井孝作全集  
全12巻、中央公論社

## [手紙]

- 48 室生犀星
- 49 志賀直哉
- 50 芥川龍之介
- 51 川端康成
- 52 菊池寛
- 53 武者小路実篤
- 54 横光利一
- 55 尾崎一雄
- 56 阿川弘之
- 57 加藤専一（千歩）
- 58 小林秀雄

## [写真・絵]

- 59 瀧井孝作の生家
- 60 少年期の瀧井孝作
- 61 国分寺 碧梧桐等と記念写真  
M45. 6
- 62 松泰寺句会 集合写真  
M45. 6
- 63 少年の顔  
ヤノス・ヴァッサリー（ハンガリー）作（ドイツ表現派）

## [書]

- 64 小道をとほす立枯の豆畑  
俳句、瀧井孝作、半紙
- 65 この朝・・・鮫貝の鮫  
T6.4 俳句、瀧井孝作、赤半紙
- 66 無限抱擁  
瀧井孝作、箱書「無限抱擁 飛騨里文学碑 自書」
- 67 菜畑へ子供のはいる裏庇  
俳句、瀧井孝作、紙本装
- 68 東山北白川の初時雨  
俳句、瀧井孝作
- 69 乗鞍に雪光る日や蕪引  
俳句、瀧井孝作
- 70 消しゴムと鉛筆の机蓬餅  
俳句、瀧井孝作
- 71 瀧井孝作 俳句短冊3枚  
俳句、瀧井孝作
- 72 毛深い添へ馬の数のふみすべる雪  
T12 俳句、河東碧梧桐、満州洮南での作
- 73 両客此相逢百年与天閑艤舟臨碧岸吹笛對  
漢詩、中村不折
- 74 蚊遣りする妻の頬白し草の闇  
俳句、柚原畦董
- 75 時雨して偲ぶ翁の逸事かな  
俳句、柚原淇澳
- 76 句稿「朴の花」  
句会資料。碧梧桐の名有り
- 77 似顔絵 山梔子画
- 78 衝立 俳句貼交り

## [芋版画、小町谷新子作]

- 79 山吹はさ庭の地の高み哉
- 80 田濁りを打ち切って澄む杜若
- 81 川筋や眺めのかぎり赤蜻蛉
- 82 飛騨山の腰高障子に人と成
- 83 奥まりてひときは赤き椿かな
- 84 風強し吹かれ綻ぶさくらかな
- 85 せきれい逐へり春昼の積水になりゆく